

●エピクエスト

# ワイドギャップ半導体

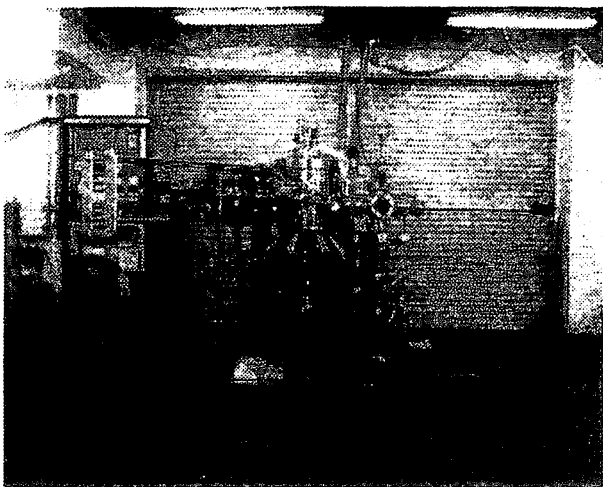
## 装置事業を拡大

新型MBE開発や  
海外展開を加速

(株)エピクエスト(京都市南区上鳥羽中河原五一、〇七五―六九三―三三五六)は、ワイドギャップ半導体デバイス用製造装置の事業拡大に乗り出す。急速変調MBEシステムや次世代装置の開発を加速するほか、海外へも事業を展開。五年後に売上高倍増と株式上場を狙う。

同社は、MOCVDとMBE両方を手がける装置メーカーとして二〇〇〇年六月に設立された。研究開発や小規模量産など特殊分野で五〇%以上のシェアを持ち、両装置で累計二二〇台以上の出荷実績がある。先ごろ一―月末に京都市に新本兼工場を竣工・稼働し、装置生産能力を従来比三倍に高めている。

今期(〇六年五月期)は、主力のMOCVD、MBE装置の受注が好調に推移。東北大や豊橋技科大、民間の研究所などからMOCVD二台、MBE三台、VCSEL用酸化炉一台を受注し、装置の改造やメンテナンス



エピクエストのMOMBE装置

調MBEシステムを商品化する。同システムを用いたInN薄膜の開発について、〇五年八月に経済産業省から補助金の交付を受けている。立命館大学の指導を受け、三月

までの四〇〇〜一〇〇〇℃を急速変調できるマニピュレーター(基板加熱機構)と光セルを開発する。同システムは、ZnO薄膜の開発などにも応用できる見通しだ。

新本社の稼働を受け、〇六年以降は装置メーカーとしての事業拡大を本格化させる。主力の研究開発用装置に加え、量産用装置の商品化を進める方針。すでに

量産機として商品化したVCSEL用酸化炉のようなニッチ分野を開拓する。その酸化炉では、酸化のエンドポイントモニターを開発した。すでに導入実績も挙げている。一月中には新本社内にデモ機を設置し、ユーザー評価ができる体制を構築して販売拡大につなげる。

また、〇六年中に急速変

まで拡大するため、海外への事業展開を加速する。海外装置メーカーとの提携交渉を進めており、同社のネットワークを通じた海外への装置販売やメンテナンスの委託、世界で唯一エピクエストが開発した超高真空搬送チャンバーをはじめとする部品の提供およびその他部材の共有化、次世代装置の共同開発などを実施する予定だ。〇六年初頭には詳細を決定する。